令和７年度　稲敷市立江戸崎中学校グランドデザイン

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり　たくましい心を養う

郷土を愛し　協力しあう心を育てる

本校の教育目標

気力・知力・体力の豊かなたくましい生徒の育成

稲敷市教育振興計画<第３期>

基本理念
『郷土を愛し、未来にはばたく　しなやかな人づくり
基本目標
1　未来を担ういなしきっ子の育成
2　いなしきっ子が学ぶ質の高い教育環境の充実

目指す生徒像

- 目標をもち、計画的・継続的に学習する生徒
- お互いの個性を尊重し合える生徒
- 健康で、自ら鍛える生徒

目指す学校像

- 規律ある学校
- 活力ある学校
- 自分の成長を実感できる学校

目指す教師像

- 豊かな人間性と高い使命感をもつ教師
- 実践的な指導力のある教師
- 子どもに寄り添うことのできる教師

学校経営の基本構想　自律の精神を尊重し、生徒も教職員も自分の成長を実感することができる学校作り

- 生徒の自己有用感を高め、他を思いやる心と温かい人間関係の育成を図ります
- 個に応じた支援体制を充実し、自立と社会参加をめざす特別支援教育を進めます
- 問いの発見と試行錯誤、対話を通して学びを深めていく探究的な学習を目指し、授業改善に取り組みます
- ICTの効果的な活用により、学習意欲の向上と個別最適な学び、協働的な学びの実現を図ります
- 教職員の働き方改革を推進し、勤務時間外の在校等時間の縮減に努めます

＊月の超過在校等時間が80時間以上の職員０人、特例（月45時間超の月は６カ月以内）を超える職員０人

組織目標

他者を思いやり、他者と共に粘り強く挑戦していける生徒の育成
～居場所づくりと自己有用感の涵養を通して～

全ての生徒に居場所と役割があり、成功体験と他者に認められる経験を通して自己有用感が高まることで、他を思いやる心や困難に対して諦めずに協力して挑戦する生徒や、粘り強く学習に取り組む生徒を育成する

確かな学力向上プロジェクト

①探究的な学びの充実
- 生徒が問いを見つける導入の工夫
- 体験活動やICTを活用した情報収集
- 整理･分析･まとめのスキルアップ
- 次の学びにつなげる振り返り
- ➢ ICT機器を使って授業を行った（95%）

②主体的・対話的で深い学びの授業改善
- 単元や題材を俯瞰した授業計画、教材研究
- 主体的に学びに向かう課題提示の工夫
- 自力解決と小集団活動の往還
- 深い学びに向かわせる「切り返し」の工夫
- 学習評価の視点の明確化、充実
- ➢ 問いのある課題を提示した（95%）

③教科と生徒指導を一体化させた授業づくり
- 達成感のある魅力ある授業づくり
- 他者を認め合い、絆を感じる集団づくり
- 自己選択・自己決定の場の設定、充実
- 多様性を認め合い、活躍の場の創出、支援
- ➢ 授業が楽しい（85%）
- ➢ 授業が分かりやすい（85%）

④外国語教育の推進と充実
- 聞いたり読み取ったりする知識技能の定着
- 相手や目的に応じた表現の向上
- 相手に配慮したコミュニケーション力向上

豊かな心教育プロジェクト

①基本的な生活習慣の確立
- 必要な就寝時間の確保、朝食摂取の促進
- 情報端末やメディアの適切な扱い方の向上
- いじめ、悪を絶対に許さない雰囲気の醸成
- ルールの順守、マナーアップへの意欲向上
- ➢ 毎日朝食をとっている（78%）
- ➢ スマホ利用のルールを決めている（60%）
- ➢ 学校はいじめ防止に努めている（85%）

②自己有用感を育てる学級･学年経営
- 全ての生徒に居場所と役割を
- 全ての生徒に成功体験を
- 全ての生徒に他者から認められる体験を
- ➢ 学校に行くのは楽しい（85%）
- ➢ 自分にはよいところがある（80%）

③自己有用感を育てる自主的･実践的活動
- 学級や学校のための係・委員会活動の充実
- 江戸パンボラの効果的な企画、積極的参加
- 自己有用感を自覚させる振り返りの充実
- ➢ パンボラなどのボランティア活動に積極的に参加している（60%）

自己実現プロジェクト

①自己のよさ・強みの気付き、伸長
- 自己理解と振り返りの充実
- 興味関心に基づく探究的な活動の実施
- 教師や友人によるフィードバックの実施
- ➢ 学校は主体的に進路選択できる能力や態度を育てている（90%）

②適切な勤労観・職業観の獲得と目標の設定
- 地域人材や環境の活用、キャリアモデルとの交流
- 学習や進路に関する相談、二者面談・三者面談の積極的な実施
- 生活の記録を活用した内面的理解の促進
- ➢ 卒業後の進路や将来の職業に夢や目標がある（70％）

③他者と協力・協働して目標に迫る力の向上
- 興味関心に基づく課題解決型の活動の設定
- 生徒会スローガンに迫るための学校行事の企画と実践
- ふるさと学習の充実
- ➢ 生徒総会のスローガンを実践しようとしている（60％）

開かれた学校プロジェクト

①地域との積極的な連携
- 学校運営協議会の充実、持続的活動の創出
- 定期的な教育相談、専門的機関との連携強化
- ➢ 地域の人材や外部講師を活用した（60％）

②情報公開と透明性の確保
- 学校だより等の通信、学校ホームページの定期的な発行
- 法令順守、働き方改革の推進
- ➢ 便りやHPを使って保護者に情報を発信した（80％）
- ➢ コンプライアンス意識を高めて勤務した（100％）
- ➢ 目標退勤時刻を意識して勤務した（70％）